



令和2年9月3日

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

残暑の候、熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止をしながら、新しい生活様式で活動されている奉仕団も多いと思います。今回は、そのような奉仕団の活動をいくつか紹介いたします。また事務局から活動内容の提案もさせていただきます。

ぜひ参考にいただき、みなさんの奉仕団での活動の様子などをお知らせください。

### ★新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう★

動画を視聴して研修会を実施しました

～新潟県赤十字安全奉仕団柏崎市分団～



### ★3つのテーマで話し合い★ 参加者の感想です

#### ①どんな不安を感じたか

- ・ 今までの日常が戻ってこないのではないか
- ・ 離れている家族にいつ会えるのか

#### ②どのように過ごしたか

- ・ 3密を避ける
- ・ 手洗い、マスク着用
- ・ 不要不急の外出をしない

#### ③これから心がけたいこと

- ・ 気を緩めず今の取り組みを続ける
- ・ 新しい生活様式に慣れ交流する
- ・ 様々な情報を自分のこととして受け止め判断する
- ・ 自分が感染者のつもりで行動する

ウイルスを遠ざけたいという心理

感染への不安・恐れ

特定の対象をウイルスと関連づける心理

生き延びようとする本能

### ★手作りマスクの寄贈★

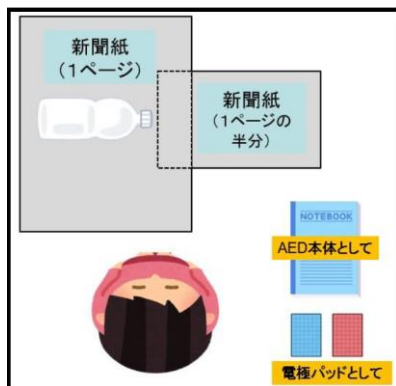
自分たちで寄贈先を考え行動しました

～小千谷市赤十字奉仕団～



小千谷市赤十字奉仕団では、「いかなる状況下でも、年齢に関係なく、自分のできることを生活に生かしていく」ことをモットーに、市内の高齢者施設で定期的な活動や 街頭募金への協力などを行っています。

★心肺蘇生のオンライン講習会受講★ （東京都支部主催） ＊県内の学生19名参加  
学生の強みを生かし、自宅で学びました ～青年赤十字奉仕団～



人形とAEDの代わりに新聞紙とペットボトルを使いました。

ー学生の感想ー

画面で講師のやり方を見ながらやれて、心強かったです。実際の状況をイメージするのは難しいなと感じました。コロナ流行下の心肺蘇生を学べて良かったです。

★非常呼集訓練 その後にコロナ流行下での心肺蘇生&ビニール袋でのガウン作成★  
密にならないよう配慮して作業しました～新潟県赤十字安全奉仕団新潟市分団～

感染防止対策を取りながら、今年最初の分団活動ができ、元気な様子が分かり良かったです



感染防止のために必要だけれど、ビニールのガウンを着て活動すると、暑いので大変だなと思いました

★奉仕団の皆さんへ★  
感染防止対策をしながら、こんな活動をしてみませんか？

テーマ	具体的な内容	備考
1. 公共施設の消毒作業	・学校や保育園の消毒作業をボランティア活動として実施する	※地域の受け入れが可能な施設情報や確認方法が分からない時は支部に相談可能
2. 災害に備える	・募金活動を呼びかける ・災害時の避難所運営のお手伝いなど社会福祉協議会と協働する場を想定して、日頃からの関係づくりをする	
3. 感謝を伝える	・地域の医療施設へ、感謝のお手紙やメッセージや寄せ書きなど工夫して伝える ・地域でのブルーライトアップを呼び掛け、感謝のメッセージを伝える ・長岡日赤病院等地域のコロナ患者受け入れている施設に感謝のメッセージを作成し、手に持った写真を支部に送信してもらう（ガラケー可）	・支部でまとめてFacebookやホームページで動画・記事作成
4. マスク第2弾	・各地域の高齢者世帯や独り暮らしの方に配布するマスクを手作りする ※奉仕団員の居住地地域や町内会等限定することで対象者を絞る ※マスク以外にも雑巾など用途が明確なもの	・型紙の提供可、布など現物提供は不可 ・個人作業で作成が可能なこと、町内などであれば顔見知りであり共助ともなる
5. 災害食レシピコンテスト	・大釜での炊き出しでなく、ハイゼックスやポリ袋を利用したコロナ感染予防の新しい生活様式下でのレシピを考える (自宅で、災害時でも簡単に作れるもの)	・今後支部でもコンテストの実施について検討予定
6. 外食呼びかけ	・地域の出前やテイクアウト情報を募り、自分たちのお気に入りベスト3を地域の広報誌などに掲載させてもらい、発信する (自宅にいながらお店の支援ができる)	・支部にも教えてもらえる と、県内奉仕団で共有できるよう発信可能

事務局

日本赤十字社新潟県支部 事業推進課 新潟市中央区関屋下川原町1-3-12

TEL 025-231-3121 FAX 025-231-3122 メールアドレス jigy@niigata.jrc.or.jp

